

研究授業（4年算数科「およその数の表し方と使い方」永田先生9月27日）を終えて

「わかった」「できた」を実感できる算数科の授業
～数学的活動を通して学ぶ楽しさやよさをあじわう授業をめざして～
考える力・協働する力・がんばり抜く力

鴨川先生の授業までの「共通実践」と「取組の検証」

視点①子どもの実態を捉え、題意をしっかりと把握させる。

視点②板書、キーワード、図、掲示物等を使うようにコーディネートする。

視点③適用題の徹底と自分の成長に気づくふり返りの記入。

（大津山）先生の改善点
よりわかりやすい準備を
がんばる。

がい数に変える
と・・・

私はタブレットに
かいたけど・・・

（鴨川）先生の改善点
板書や掲示物も活用して発表できるようにさせる。

（檜原）先生の改善点
本字の学習に使える既習内容の掲示。
自分の成長に気づくことができるように
よいところのポイントを伝えること。

（前田）先生の改善点
子どもの実態をしっかりと捉える。
題意をしっかりとおさえ、子どもに考え
させる。

（小坂）先生の改善点
一人一人の反応を見て、確認して、「つ
ぶやき」をキャッチしながら授業のコー
ディネートを行っていく。



（永杉）先生のアドバイス
最大や最低、だいたい（およそ）などの
言葉を使って整理しておくことよりすっきり
すると思いました。

（増田）先生のアドバイス
数直線を別々にしたり矢印を太字にしたり
すると、目で見てわかりやすく説明し
やすかったのではと思いました。

（校長）先生のアドバイス
「任せる」ことももっとできると思います。それぞれの子どもたちの中にある可能性
を引き出せるような授業づくりをがんばってください。



研究授業、ありがとうございました。事前研の前から悩みに悩み
試行錯誤してたどり着いた授業その過程も含めて永田先生の大きな
財産になったと思います。どのような課題を与えれば子どもたちが
協働的に学ぶのか、どのような発問をすれば主体的に考えるのか。
悩みはつきませんが、試行錯誤しながらがんばっていきましょう。
次回の鴨川先生の授業で大研は最後です。よろしくお願いま
す。